

株式会社 ファミリーマート 御中

タイ王国
子どもの水の事故防止推進事業

第1四半期報告書(2019年3月～2019年5月)



2019年7月
公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	子どもの水の事故防止推進事業
対象国・地域	タイ王国 バンコク都
事業期間	2019年3月～2021年2月（24ヶ月）
報告期間	2019年3月1日～2019年5月31日
予算	450,000米ドル
受益者	バンコク市内の小学校 14校
事業目的	子どもの水の事故を防ぐための水泳教室の実施、行政に対する政策提言を通し、子どもたちの水の事故予防を推進する

2. 事業全体の進捗

タイにおける子どもの水の事故のリスクの高さは、深刻な問題となっています。15歳以下の子どもの死亡原因で最も多いのが溺死であり、2000年から2018年までの間に合計2万2千人以上の15歳以下の子どもが亡くなっています。

セーブ・ザ・チルドレンは、2016年より、保健省や教育省の協力のもと、都市部・農村部における子どもの水の事故予防事業を実施しています。先行事業では、ゲームやアニメーションを取り入れた教材を使用しながら、子どもたちが水上安全に関する知識を向上させ、水の事故を防ぐための泳法を習得することを目的としてきました。本事業は、これまでの成果と学びをもとに、さらに対象を拡大し、障害のある子どもも含めたより多くの子どもたちに、水上安全のメッセージと予防のための知識と技術を広げていくものです。

本事業は2年間で14校の小学校を対象とする予定であり、バンコク都教育サービス局、学校法人委員会、バンコク都庁と協議し、今年度はまず8校を対象校に選定しました。選定の際には、学校側に事業に対する関心と熱意があり、また活動に協力する意思があることを主な基準としました。

1年目の事業対象校8校のうち、Suan Bua 小学校および Wat Wetawanthammawat 小学校は、2017年から2018年に実施した先行事業に参加しています。この2校の教師は、本事業において、先行事業での経験をもとに、新たに参加する6校の教師に助言を与えたり、また、障害のある子どもにやさしい泳法指導マニュアルの作成にも参加していく予定です。

表 1:事業対象校(1 年次)

学校名	地区	生徒数	
		女子	男子
1. Sanghirun	Wattana	51	38
2. Anuban Phibunwes	Wattana	528	502
3. Prathomnonsee	Yannawa	145	172
4. Surao Sam-in	Wattana	219	221
5. Surao Ban Don	Wattana	73	64
6. Sawasdee Wittaya	Wattana	299	281
7. Suan Bua	Phaya Thai	148	188
8. Wat Wetawanthammawat	Bang Sue	192	208
合計		1,655	1,674

なお、Wat Wetawanthammawat 小学校には、17 人(女子 3 人、男子 14 人)、Prathomnonsee 小学校には 14 人(女子 5 人、男子 9 人)の障害のある子どもが通学しています。本事業では、障害のある子ども水の事故予防のために必要な知識と技術を習得できるよう、泳法マニュアルの作成や教師への研修を実施していきます。

4 月下旬には、子どもたちに対する泳法訓練に先駆け、教師を対象に指導者研修を実施しました。また、子どもの水の事故防止教育が全国で実施されるようになることを目指し、政策提言の戦略を作成するとともに、障害のある子どもにやさしい水難事故予防のための活動についても、関係者と協議を開始しました。

3. 活動の進捗

期待される効果 1: 子どもとその家族、地域住民が、水の事故予防のための知識と技術を習得する <水難に備えた泳法のワークショップ(指導者研修)>

4 月下旬、4 日間の指導者研修を行い、新しく事業に参加する 6 校の 23 人の教師(女性 15 人、男性 8 人)に加え、先行事業に参加した Rachawinit 小学校(本事業の対象校ではない)および Suan Bua 小学校の教師(各 2 人)、Wat Wetawanthammawat 小学校の教師(1 人)が参加しました。研修の講師となったのは、タイ・ライフセービング協会(Thai Life Saving Society=TLSS)のメンバーです。

この研修では、水上安全に関する基礎的な知識や心肺蘇生法についての講習、泳法訓練を行いました。参加した 23 人のうち 12 人は泳ぐことができない状態でしたが、研修後は、水に浮く方法や水中で動く方法など、基礎的な技術を測るテストに全員が合格することができました。水上安全に関する知識についても、研修の前後で、平均 9.2 点から平均 18.0 点(ともに 25 点満点)と、向上が見られました。

また、この研修においては、通常の授業や学校の活動にどのように水の事故予防のトピックを組み込むことができるかについて話し合い、各学校における活動計画の草案を作成しました。この活動計画作成にあたっては、先行事業に参加した Rachawinit 小学校、Suan Bua 小学校、Wat Wetawanthammawat 小学校の教師が、新しく事業に参加した 6 校の教師に対し、自分たちの学校での実践例を紹介するなどしてサポートしました。

研修に参加した教師の声

「自分が泳げるようになるとは思っていなかったのですが、この研修を通して自分に自信を持つことができました。救命ジャケットの正しい着用法を知ることができたのも実用的でした」

「空のプラスチック・ボトルが、溺れそうになっている人を助けるのに役立つということなど、考えたことはありませんでした。空のプラスチック・ボトルとロープは、車の中に常備しておきたいと思っています」

「生徒たちと、学校周辺でリスクが高い場所について話し合ってみようと思います。どこに水の事故のリスクがあり、どのように事故を防げるかについて、生徒たちは知る必要があると思います」



この指導者研修の後、Sanghirun 小学校、Surao Sam-in 小学校、Wat Wetawanthammawat 小学校は、それぞれにおいて独自に、子どもたちに対し、水難に備えた泳法訓練を開始しました。

また、この事業では、研修を受けた教師や生徒が中心となって各学校で水の事故予防に関する啓発活動を行うにあたり、その必要経費を支援するシード・ファンドの提供を行います。今回の研修の中で、参加した教師たちは、今後各学校で啓発活動を行うにあたり、必要な準備などについて学びました。

期待される効果2: 地方及び国レベルで、水の事故予防教育が普及する

<水難に備えた泳法マニュアルの説明>

セーブ・ザ・チルドレンは、これまで実施した事業において、小学校および幼稚園の教師向けに、それぞれ、水上安全および水の事故に備えた泳法を教えるためのマニュアルを作成してきました。この2つのマニュアルは、TLSS のカリキュラムをもとに、小学生、また就学前の子どもたちが興味を持ちやすく、また、学びやすいように改編したものです。この改編の過程においては、都市部・農村部両方の小学校や幼稚園の教師との話し合いを重ね、彼らの意見を取り入れました。

プロジェクト・チームは、事業対象校の教師に加え、保健省、バンコク都教育サービス局、学校法人委員会、バンコク都庁の職員計22人(女性15人、男性7人)に対し、これらのマニュアルについての説明を行いました。

<バンコク都庁、バンコク都教育サービス局、学校法人委員会、特別教育局との協議>

セーブ・ザ・チルドレンは、上記のマニュアルを活用し、国レベルで学校教育の中で水の事故予防プログラムが実施されるようになることを目指し、非感染性疾病局、保健省などと密に連絡を取り、政策提言戦略を作成しました。この政策提言の狙いは、教育省とその他の関係省庁が、水の事故予防を学校のプログラムに組み込み、また、それを実施す



オンライン署名キャンペーンのフォーム

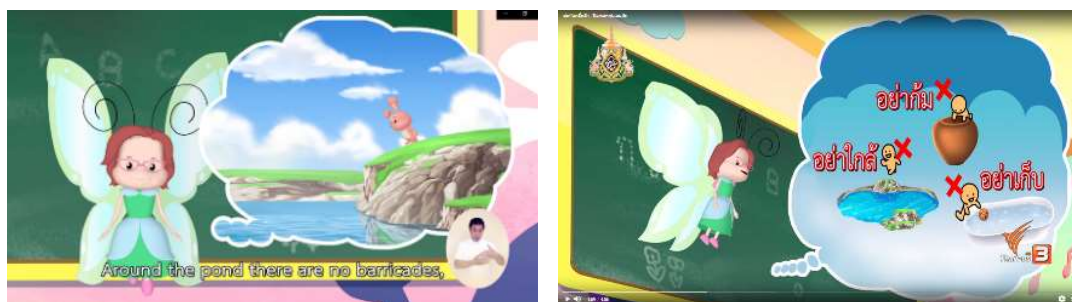
るための予算を充当するようにすることです。今後、国レベルで子どもの水の事故予防プログラム実施の必要性に対する意識が高まるよう、オンライン上での署名キャンペーンも展開していきます。

<障害のある子どもにやさしい水上安全ガイドライン作成>

本事業においては、タイ南部において実施した「インクルーシブ防災」プログラムの経験をもとに、障害のある子どもが学びやすい水上安全ガイドラインを作成する予定です。プロジェクト・チームは、教育省下にある特別教育局と、障害のある子どもにやさしい水難事故予防プログラムについて協議しました。

<“Alert Little Tun”アニメーションを使用した啓発メッセージの普及>

タイにおける子どもの水の事故は、3月から5月の学校の長期休暇期間に特に多く発生します。そこで、3月9日から4月20日の間、特に5歳以下の子どもに対する水の事故予防啓発のために、Thai PBS(タイの国営放送局)で“Alert Little Tun”¹のアニメーションを放映しました。Thai PBSは、テレビ放映のほか、ウェブサイトやYoutube上で同映像を公開しており、5月末までに、上記2つのオンライン上での視聴数は12,278人となっています。



アニメーションには、字幕(タイ語および英語)や手話が入ります

4. 今後の活動予定

2019年6月以降は、主に以下の活動を予定しています。

- ・ 生徒たちに対し、水の事故予防のための講習および泳法訓練を実施します。
- ・ 各学校において、教師や生徒が中心となって水の事故予防のメッセージを広めるための啓発活動を計画し、実施します。
- ・ 関係省庁の協力のもと、水の事故予防が国レベルで学校のプログラムに組み込まれることを目指した政策提言、障害のある子どもにやさしい水上安全ガイドライン作りなどを進めていきます。

¹ モグラのキャラクター“Tun”が動物の仲間たちと防災(特に洪水災害への対応)について学んでいくストーリー。先行事業で作成した13のエピソードを含め、セーブ・ザ・チルドレンはこれまでに26エピソードを作成しています。

Thai PBSの“Alert Little Tun”のサイト:<http://program.thaipbs.or.th/LittleTun>

5. 活動の写真



教師に対する指導者研修では、心肺蘇生法の講習も行われました(2019年4月25日、パトゥムターニー県)



23人の教師が、水の中で救助を待つ時の体勢、ロープ等を使用した救助方法について学びました(2019年4月28日、パトゥムターニー県)

新学年度開始に際し実施された保護者会議では、水の事故防止プログラムについての説明も行われました(2019年5月1日、Surao Sam-in 小学校)



救命ジャケットの正しい着用方法について学ぶ子どもたち(2019年5月28日、Wat Wetawanthammawat 小学校)

課外活動の時間に、“Alert Little Tun”のアニメーションを通して水の事故予防について学ぶ子どもたち(2019年5月23日、Wat Wetawanthammawat 小学校)

参考資料

活動スケジュール(1年次)

活動	2019												2020	
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
学校長期休暇期														
事業レビュー（内部）		X												
リクルートメント		X	X											
キックオフ・ミーティング（内部）	X													
事業実施計画書最終化	X	X	X											
資機材購入		X	X											
活動 1														
学校選定	X	X												
教師に対する指導者研修		X												
教師に対するリフレッシュ講習														
生徒たちに対する、水の事故予防のための6週間講習の実施														
生徒たちに対する、水の事故予防のための3日間キャンプの実施														
PhotoVoice（課題や学びなどを話し合うワークショップ）														
各学校における啓発活動の支援														
事業成果披露イベント														
"Alert Little Tun"のCDや啓発教材（塗り絵本）の印刷		X	X											
水の事故予防学習のための資材購入		X	X											
活動 2														
教育省との四半期ミーティング	X													
インクルーシブ教育ワーキンググループの設立														
インクルーシブ教育ワーキンググループの会議実施														
インクルーシブな水の事故予防ガイドラインの作成														
水の事故予防カリキュラムのミーティング														
サクセス・ストーリー集の作成および印刷														
水の事故予防に関する一般向けの啓発活動		X	X											

※実施した活動は「X」で表記